

授業科目名	臨床実習Ⅳ（総合臨床実習①）	授業形態	実習	配当学期	3年（前期）
担当教員名	沖田任弘、落合慶之、水谷貴佐、平塚将嗣、中村侑造、山田真輔	単位数	8単位	時間数	360時間
概 要	<p>理学療法士として必要な業務一般を実習指導者の指導・監督の下で総合的に実践し、臨床家として基礎を形成する。 その他の事項および実習の詳細については、別途配付する「臨床実習の手引き」を参照する。</p> <p>◎ 内容（総合臨床実習）</p> <ol style="list-style-type: none"> 7週間の期間を通じて、臨床実習指導者の指導・監督の下に診療チームの一員として診療に参加し、理学療法の総合的な学習を行う。 情報収集、検査測定・観察に基づく評価、治療にいたる一連のプロセスを体験する。 <p>◎ 内容（訪問または通所リハビリテーション）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1週間の期間で、訪問または通所リハビリテーション分野での理学療法士の業務を見学実習し研鑽に励む。 <p>◎ 実習期間</p> <p>総合臨床実習①（7週間） 訪問または通所リハビリテーション（1週間）</p>				
評価方法	社会スキル評価表（38%）、運動スキルチェックリスト（20%）、臨床実習ポートフォリオ（14%）、実習後OSCE（10%）、実習後症例報告会（18%）の各評価に基づいて総合的に評定を行う。				
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 臨床技能とOSCE（機能障害・能力低下への介入編）金原出版</p> <p>〔参考図書〕 臨床技能とOSCE（コミュニケーションと介助・検査測定編）金原出版</p>				
履修上の 留意点	臨床現場での実習であるため、態度・服装等に細心の注意を払い、学生らしく真摯な態度で取り組むこと。また、個人情報をもととする各種の現場での規約を遵守し、社会人として恥ずかしくない行動を取ること。				
メッセージ	常に適度な緊張感をもち実り多い実習にしてください。				